

## 2. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

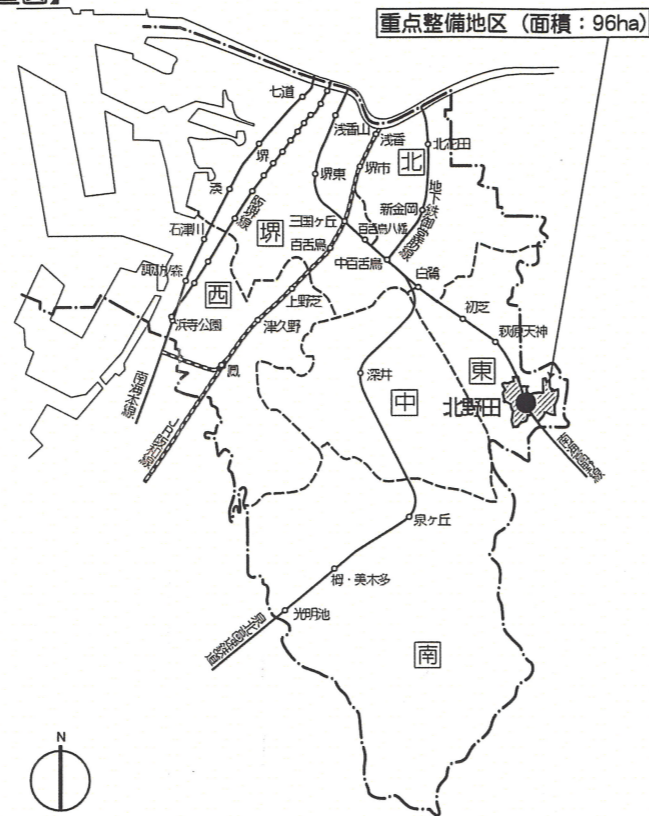
地区 南海高野線  
北野田駅周辺地区

### 地区特性

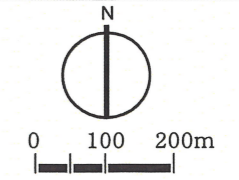
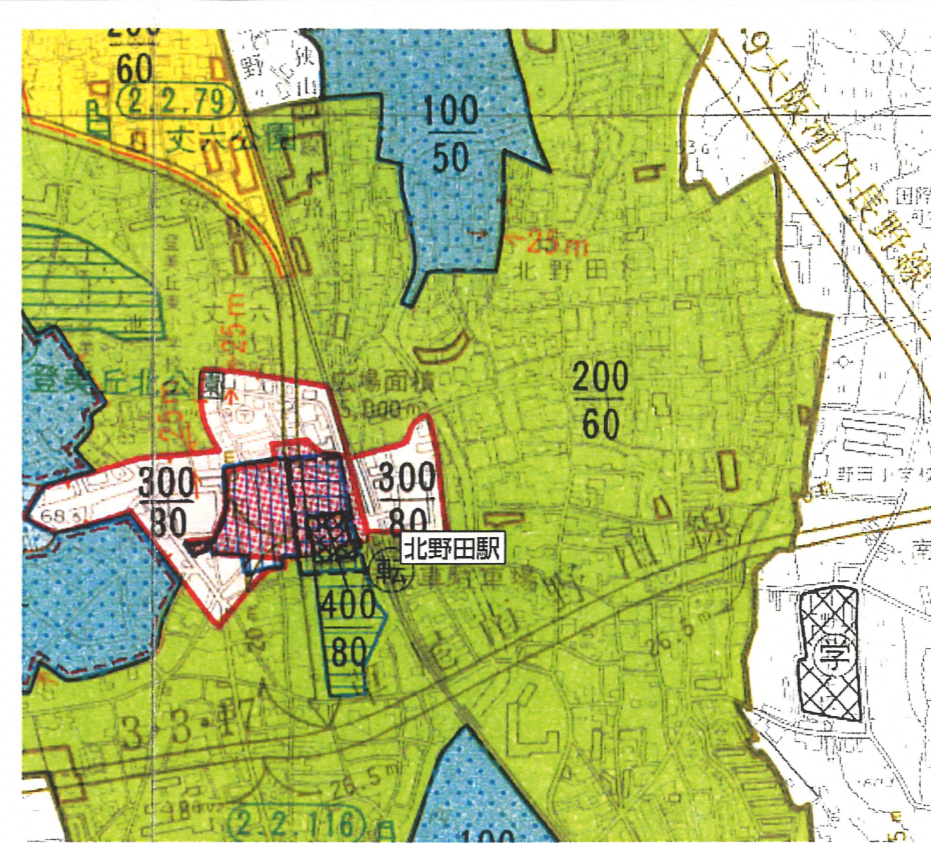
#### 【データ】

- ① 1日平均乗降客数……………35,486人/日  
(平成11年度)
- ② 高齢者利用者数……………4,175人/日(推定)  
身体障害者利用者数……………997人/日(推定)  
(注) 高齢者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均高齢者率  
身体障害者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均身体障害者率)
- ③ 駅前広場概要
  - ・面積……………5,000㎡(計画中)
  - 現況でバスバース数……………5
  - タクシーバース数……………1

#### 【位置図】



### 用途地域図



平成12年11月作成

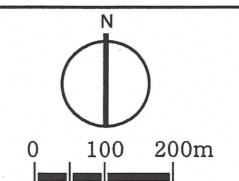
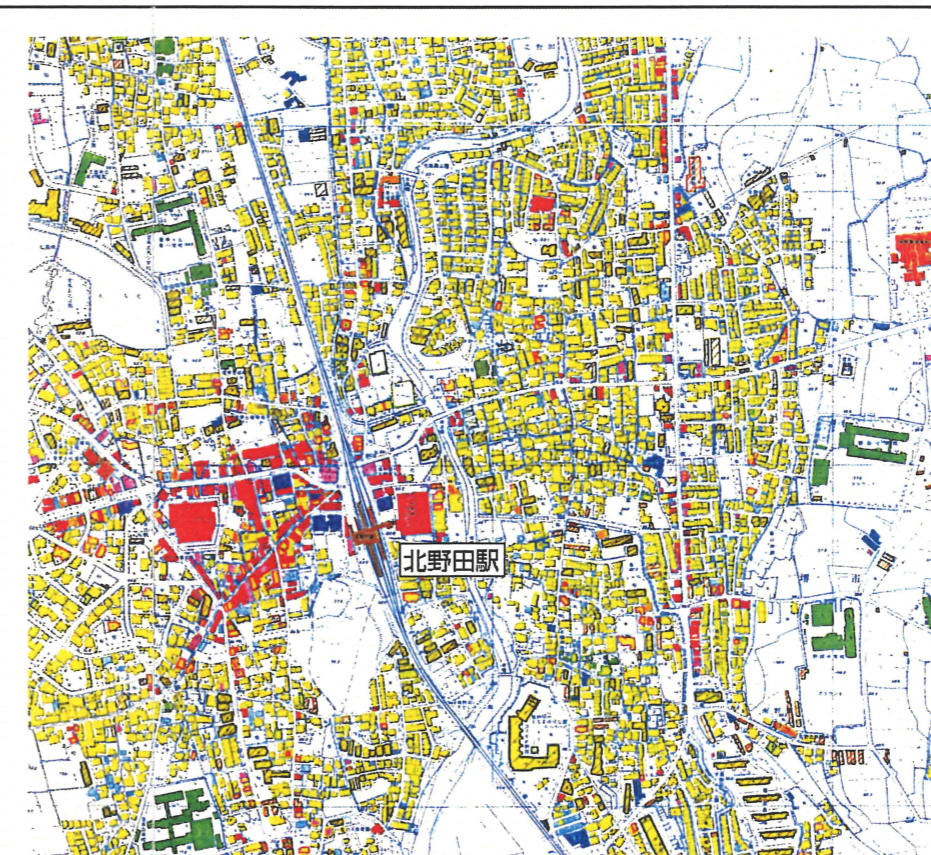
#### 【地区特性】

- ・北野田駅は、堺市東南部に位置し、東支所区域の商業拠点として発展した地区の駅である。
- ・北野田駅周辺地区は、住宅地としての利用が主であるが、地域生活拠点として、堺市東南部の商業拠点として発展しており、近辺には大規模店舗、商店街がある地区である。
- ・都市計画道路、駅前広場などの都市基盤整備に合わせて、東支所区域の商業拠点としてふさわしい魅力ある商業・業務・文化機能の充実を図るとともに魅力ある公的都市型住宅の整備を図るために、再開発事業を推進している地区である。
- ・北野田駅は東支所区域、隣接市町につながる鉄道・バスターミナル結節点である。

#### 【交通バリアフリー化からみた主な課題】

- 鉄道駅
  - ・駅構内・構外ともにエレベーター、エスカレーターが未整備である。
  - ・利便施設についても、障害者用便所が未整備などガイドラインからみてその機能が不十分である。
  - ・情報提供施設については、構内の案内板の整備などの課題がある。
- 駅前広場
  - ・再開発事業による再整備が課題である。
- 道路
  - ・地区内の道路は全般的に歩道が狭く歩きにくい。
  - ・再開発事業に伴う歩道整備およびそれ以外の地区での歩行空間の確保、一部区間で段差、横断勾配の改善の検討が必要である。
  - ・商店街での不法駐輪車両、不法駐車車両、看板などが通行の妨げとなっている。
- 信号・交差点
  - ・特定経路における音響信号設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討が必要である。

### 建物用途現況図



平成9年12月末現在